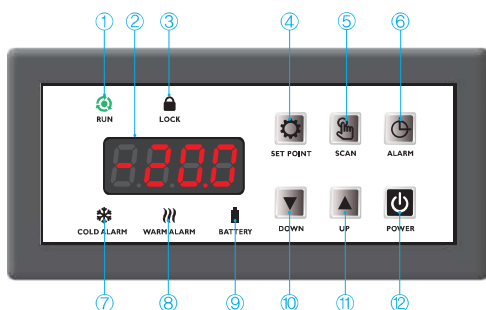


赤枠の箇所が新しく追記された内容です。

## ■ ご使用方法

製品起動方法と温度データ確認方法をご確認下さい。温度設定と警報設定は既にされていますのでお客様の設定は不要です。



- ① 運転稼働表示ランプ
- ② 温度表示ディスプレイ部
- ③ 設定ロック/解除 表示ランプ
- ④ SET POINTボタン
- ⑤ SCANボタン
- ⑥ ALARMボタン
- ⑦ 低温警報 アラームランプ
- ⑧ 高温警報 アラームランプ
- ⑨ バッテリーランプ
- ⑩ 温度 DOWN 設定ボタン
- ⑪ 温度 UP 設定ボタン
- ⑫ 電源ボタン

### 製品起動

- ① 電源プラグをコンセントに挿しこむ。  
この時、(3)設定ロック/解除表示ランプが点灯する。
- ② (4)SET POINTボタンと(5)SCANボタンを数秒間同時押しする。
- ③ (3)設定ロック/解除表示ランプが消灯するので、(12)電源ボタンを押すと電源が入る。  
※電源を切る際にも同じ操作を実施します。  
※バッテリースイッチも合わせてON/OFF操作をしてください。(Page9) 裏面参照

### 温度設定

- 製品出荷時セッティング温度は -20℃に設定されています。
- ① Set pointボタンとscanボタンを同時に押ししてロックを解除させる。  
(lock ランプ点灯 = ロック状態, lock ランプ消灯 = 解除状態)
  - ② SET POINTボタンを押すと設定温度が表示される。  
(出荷時設定温度 -20℃)
  - ③ UP,DOWNボタンを利用して使用温度範囲内で温度を設定する。  
(使用温度 = -24℃~-15℃)
  - ④ 設定後 10秒後に自動的にセッティング温度を記憶する。

### 上限/下限 アラーム 温度設定

- 工場出荷時の高温警報は-15℃、低温警報は-25℃です。
- ① ロック機能が解除された状態でSET POINTボタンを3秒間押し。
  - ② ディスプレーに "Lo (下限アラーム温度)" 表示される 1秒後 設定値が表示される
  - ③ UP,DOWN ボタンを利用して下限アラーム温度を設定する。
  - ④ アラーム温度設定後SCANボタンを押すと "Lt" が表示されてもう一度 SCAN ボタンを押すと "Hi (上限アラーム温度)" が表示される。
  - ⑤ UP,DOWN ボタンを利用して上限アラーム温度を設定する。

## ■ バッテリー及び USB ストレージデバイスの使用方法

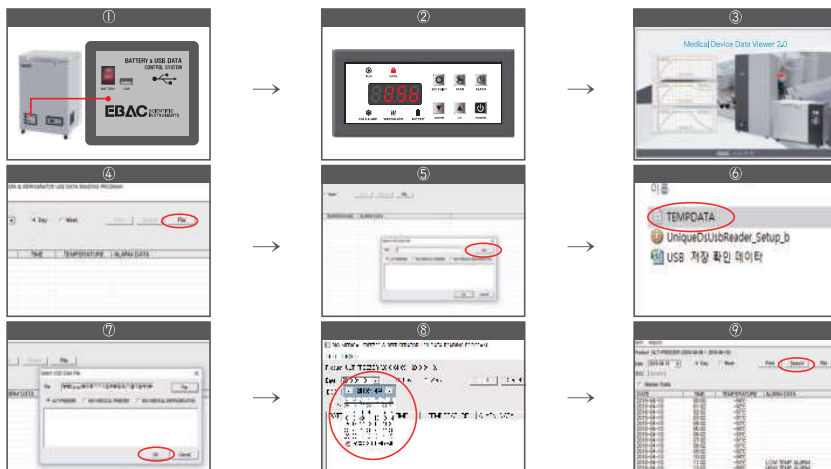


### 01. BATTERY SWITCH

製品設置後コンセントプラグをつなぎ、スイッチをONにして下さい。停電時には、ディスプレイに現在の温度が表示されます。コンセントプラグを外した状態で長期使用しない場合は過放電を防ぐため、OFFにしてください。

### 02. USB PORT (記録データ数最大1MB)

庫内温度変化及び温度記録確認時USB Portを通じ、USBメモリーでバックアップ及びPCにて確認することができます。



1. 製品稼働1時間以降に製品側面端子にUSBを挿入する。(温度記録は10分毎に記録)-画像①
  - USBを挿入すると製品のディスプレイ にUsb表示が出る。-画像②
2. 製品ディスプレイのUsb表示が消えたらUSBにデータ移行が完了しておりますのでUSBを取り外す。
3. USBをPCに挿入して、BIO MEDICAL USB Data Raderをクリックする。
  - BIO MEDICAL USB Data Raderを開いたらProgramが開く。-画像③
4. 記憶されたデータを確認するためには下記の通りに進める。
  - Fileをクリックする。-画像④
  - 画面が出たらもう一度Fileをクリックする。-画像⑤
  - Fileをクリックして記録された位置と日付を確認し、TEMPDATAをクリックする。-画像⑥
  - TEMPDATAをクリック後OKを押す。-画像⑦
  - OKをクリックして記録された日付を確認し、年、月、日を指定する。-画像⑧
  - 年、月、日を指定してからSearchをクリックすると温度記録が表示される。-画像⑨

### ■ BIO MEDICAL USB Data Reader インストール方法

弊社ホームページ内ダウンロードよりリーダーソフトウェアをダウンロード頂きソフトウェアをインストールしてください。